

## 薬剤師臨床研修の受け入れ体制等に関する実態調査内容

### I. 施設概要

1. 施設名：
2. 医療機関コード：
3. 回答者名：
4. メールアドレス
5. 都道府県
6. 許可病床数：[     ] 床
7. 薬剤師数（常勤換算）：[     ] 名

### II. 薬剤師臨床研修の実施可能性とキャパシティについて

**Q1. 在宅等の地域連携項目を除き、薬剤師臨床研修ガイドラインを満たす研修を「自施設のみ」で実施可能（または可能になる見込み）ですか？**

1. はい（自施設で完結可能） → 【Q2-A】へ
2. いいえ（一部項目を他施設で補う必要がある） → 【Q2-B】へ

**Q2-A.（自施設完結の場合）実際に研修を実施中、または令和9年度までに体制構築が可能ですか？**

1. はい（実施中・構築可能） → 【Q3：人数回答】へ
2. いいえ（構築困難） → 【Ⅲ. 課題】へ

**Q2-B.（自施設のみでは不可の場合）他施設（代表病院またはパートナー病院）で不足項目を補う形であれば、研修の実施が可能ですか？**

1. はい（連携すれば実施可能） → 次の【Q2-C】へ
2. いいえ（連携しても実施困難） → 【Ⅲ. 課題】へ

**Q2-C.（連携なら可能な場合）実際に研修を実施中、または令和9年度までに体制構築が可能ですか？**

1. はい（実施中・構築可能） → 【Q3：人数回答】へ
2. いいえ（構築困難） → 【Ⅲ. 課題】へ

**Q3. 令和9年度の研修受け入れ可能人数の見通しをご記入ください。**

**\*Q2-A または Q2-C で「YES」と回答した施設のみ。**

自施設で雇用予定の新人薬剤師数と、他施設からの受け入れ予定人数の合計をご記載ください。不明な場合は、令和8年度の最大受け入れ人数をご記入ください。

※人数の算出にあたっては、下記ガイドラインの指導体制等の基準をご参照ください。

貴院で指導・受け入れが可能な研修生の合計人数： [     ] 名

### Ⅲ. ガイドラインへの対応と体制拡充に向けた課題

Q4. 「薬剤師臨床研修ガイドライン」の充足状況について教えてください。

1. 全ての項目を満たしている（在宅研修等を含む）
2. 一部未整備の項目がある（例：在宅研修ができない等）
3. 大幅な見直し・整備が必要である

Q5. 研修生の受け入れを「開始する」あるいは「人数を増やす」にあたって、障壁となっている要因は何ですか（複数回答可）。

- [ ] 薬剤師全体の不足（日々の業務・採用の困難さ）
- [ ] 指導薬剤師のマンパワー不足
- [ ] 指導薬剤師の教育負担に対する経済的支援の欠如
- [ ] 研修プログラム（在宅、地域連携等）の調整が困難
- [ ] 施設・設備（学習スペース、ICT 端末等）の不足
- [ ] 卒後臨床研修の必要性やメリットが十分に感じられない
- [ ] 新人薬剤師が入職しない
- [ ] その他（ ）

## V. 自由記載

Q6. 薬剤師臨床研修の実施にあたり、現場での懸念点や日病薬への要望がございましたらご自由に  
記入ください。